



子どもの担任の先生に あいさつ

三者面談で先生にお会いする機会が。先生にお会いすることって滅多にないから、しっかりお礼が言いたいな。感じよくお礼を伝えるコツってあるのかしら。



▲ 悪くないけど…

「いつもありがとうございます」と、ひたすらお礼を言う。

◎ 感じのいい人

「うちの〇〇、社会科の授業が大好きになって。本当に先生に感謝しています」と具体的なエピソードを交えてお礼を言う。

子どもから聞いた具体的なエピソードを交えてお礼を

「いつもありがとうございます」というただのお礼より、具体的なエピソードを交えたほうが、先生にも伝わります。真実味が増すからです。

「こういうふうに教えてもらって、子どもが楽しかったと言っています」「先生ののおかげで、苦手な算数にも興味がわいたようです」「授業でのこういうお話が印象に残ったようです」というエピソードとともに、「とても助かっています」「感謝しております」というお礼を伝えましょう。

先生の立場としては、「先生の教えて、子どもがこんなに変わった」「こんなにいい影響があった」ということを聞くのが、一番うれしいことのはず。先生と会う前に、子どもから、先生とのエピソードをたくさん聞いておきましょう。

先生とお話するときは、「〇〇の母ですが」と、毎回名前を名乗りましょう。先生もたくさんの親御さんを相手にしているので、子どもとその保護者の顔が一致していないこともあるからです。